

婦人と職業

得能印刷局長談

婦人と職業との關係に就ては世論は益々盛んな様
 でありましたが、充分の解決が見られないは遺憾
 であります。併し理屈は兎も角、着々として婦人
 の社界上に活動するのは何よりも結構と云ふ事が
 出来ませう。殊に社界上に於ける人力の經濟と云
 ふ方面から見ても、婦女子が有爲の頭腦や手腕を備
 へたまへ、徒に家庭に怠けて居るよりは、之を社界上
 に利用することは頗る其當を得たものでせう。是
 に就て得能印刷局長の談話なりと云ふを聞くに
 参考となる可き節もありませうから左に録します。
 ▲婦人と社會 當今の日本婦人が社會から受けて
 居る壓制は、單に政治上の自由を與へられないと
 か、刑法上の均等を得不いとか云ふことよりも、第

一は職業上の問題であると思ふ、日本の男子は
 婦人と云へば男子同權の職業は爲し得ぬものと頭
 から極めて、婦人に働かざる職業を與へなかつた
 のであります。が、實際に職業を與へて見ると、如
 何なる事でも相應に出來ませう、印刷局では最も古
 くより最も多く婦人を使用して居りますが、普通
 官廳に於て屬官のする仕事、例へば簿記とか、照
 會往復文を書くとか、算盤を弾くとか云ふとは充
 分に出來ることを認めて現に従事させて居ります。
 ▲職業と體質 婦人が職業を執るに當つては、男
 子が總て組織して其の職業を與へ、婦人をして計
 畫組織に參與せしめぬ所から、種々なる間違ひが
 生じて來ます、婦人の事は婦人でなくては分らう
 等がありません、然るに男子は自己の身體知識を
 程度として事を圖るから、甚だ不合理なことが生

じて来るのであります、現に印刷局でも婦人の役員に總て椅子を與へないで、立ちながら働かすことに始め計畫され、其儘引き續いて今日も實行して居りますが、婦人は生理上の關係で、長時間立つて働くは困難であると云ふことを發見しました、今更ら是れを變更することも出來ず、其の方法に就て甚だ困つて居る次第であります。

▲教育と職業 婦人の職業者を監督するは教育ある婦人でなくてはいかぬ、故に印刷局で役員を採用する場合には、成るべく女子高等師範の卒業生などを採用するやうにして居ります、亦た教育のない者には僅少の時間なりとも割いて教育を與へ善良なる職業的婦人を作ること勤めて居るのであります。

▲監督の能力 印刷局に於ても或る程度までの監督

督は婦人にさせて置きますが、最上の監督は男子にさせてあります、婦人では何うも出來兼ねる、何故出來ぬかと研究して見ると、男子は人の上に立ち人を使ふことに興味を有つて居るが、婦人は服従的で、人に従つて事を爲すと云ふ傾きがあつて、人を使ふことに興味を有つて居りませぬ、要するに是れは男女性格の異なる點から來るのであります、また一面から考へて見ますと、是も教育が不十分な爲め、自然と人の上に立つことが出來ず、社會から壓迫された習慣性であるかも知れません。

△英國婦人は千人中毎年十四人宛結婚する割合だが歐洲の他の國では七人乃至八人に過ぎぬ、而して我が日本では八人内外の割合だといふ、